

Finding You!

市立札幌開成中等教育学校 充実期 7,8 期生 通信
発行:令和 3 年 11 月 17 日 水曜日

No.5



模擬選挙(10月29日)

社会科公民的分野の取組として、10月29日に模擬投票を行いました。3年、4年、5年次の政治・経済を受講している生徒が主な対象でしたが、全校に呼びかけ、多くの生徒が参加してくれました。現実の国政選挙に模擬参加することで、「主権者」の意識と資質を培うことがねらいでした。衆議院議員の選挙制度に則り、自分が住む選挙区から1名選出する小選挙区制と、政党に対して投票を行う比例代表制の2票を投じてもらいました。



実際に調査し、投票してみてもいいかでしたか。投票する際に大切なことは、「アナタ」が大切にしていることを代弁してくれるのは誰かという視点で候補者や政党を分析することです。「自分の代理」を選べば良いので、全ての政策を完璧に理解する必要はないのです。もちろん、多くの判断材料からより良い選択をするべきですが、「わたし」という感覚をもつこと、「わたしなら…」という視点でこれからの社会に関わってくれたら嬉しいです。皆さんが真剣に調べ、悩み、投票する姿に私たち大人も勉強になりました。来年は、参議院議員選挙がありますね。また一緒に考えよう！（3f担任 高松 勇輔）

【3年生】レアックス講演会(10月22日)

札幌開成の近く東区に本社を構える、株式会社レアックスの代表取締役兼社長であります成田昌幸様に講演していただきました。株式会社レアックスは、地質・土質・水文調査を主に行っている企業であり、経済産業省が選定する「はばたく中小企業・小規模事業者300社」に選定されるなど、日本のみならず世界的に活躍する企業です。また、SDGsにも熱心に取り組んでいる企業です。講演の内容としては、①株式会社レアックスの取組について、②職業観や社会貢献について、③これからの社会の在り方について、の三点でした。ODA（政府開発援助）の一環として取り組んだ、ボリビアでの井戸建設や社会で活躍するために求められる姿などについて、お話していただきました。講演後、生徒からの「なぜ勉強するのか」という問いに対しても丁寧にお答えいただきました。皆さんの職業観やキャリアを考える上で、良い機会となったのではないのでしょうか。（3f担任 高松 勇輔）



【3年生】いのちを考える学習(11月5日)

3年生は「共生社会を生きる」をテーマに、専門家の講話や体験学習を通して様々な障がいの特性や障がいのある人の立場を理解し、共により良く生活するための方法や工夫について考えました。今回は、「聴覚障がいについて・手話講座」「視覚障がいについて・ブラインドウォーク」「車椅子体験」「発達障がいについて」の4講座から自分の興味がある講座を1つ選択し学習に臨みました。

実際に、車椅子を押しったりアイマスクをして校内を歩いてみたり、様々な体験をすることによって「ともに生きる」ための向き合い方や行動について一生懸命考えていたと思います。11月19日(金)は、同じテーマのもとパラスポーツを体験します。楽しみに待っていてください。（3e担任 大園 綾奈）

【4年生】 ころとからだの時間「会話上手になろう」(10月29日)

例年ここからの時間において他学年との交流を行っていますが、今回は普段あまり接することのない2年生と交流しました。はじめに、「じゃんけんすごろくトーク」を行いました。軽いウォーミングアップの設定でしたが、お互い初対面なのにも関わらず多くの生徒たちがすぐに打ち解けて楽しそうに話していた姿が印象的でした。次に、「おまかせください 2年生の相談承ります！」と題して、2年生の相談にアドバイスをしました。2年生からの相談として、「部活」「人間関係」「英検」「部屋の片づけ」「恋愛関係」「将来の夢」などざっくばらんな話題から、「PP」「進路」「科目選択」など将来に対する具体的な不安まで、幅広い話題の相談に乗っていたようです。



4学年の生徒たちの振り返りでは、これらの交流を通して、かつて自分たちが悩んでいた内容で今も続いているものがあるけれど、その対策を自分の中ですでに実行してある程度乗り越えた部分がたくさんあったことに気づき、少し成長を感じたといった意見がたくさんありました。次の交流はどの学年でしょうか？楽しみです！
(4a担任 森 秀樹)

【4年生】 コズモキッズセミナー(11月5日)

コズプロの時間に、本校のお隣にある開成小学校の5年生の皆さんに向けてPP(Personal Project)の発表を行いました。このセミナーはリフレクションの深化や異学年とのコミュニケーション能力の向上を目的に行われました。

生徒の皆さんの振り返りには、『小学生向けに説明するのは、本当に理解していないと出来ないことなのでためになったと思う。(Mさん)』『年下の子に説明するということで、かなり内容と言葉を噛み砕いた発表を心掛けた。(Wさん)』『ただ情報を伝えるのではなく小学生にも伝わるような例えや冗談などで心を引きこませることが大事だとわかった。(Tさん)』といった声が聞かれました。



運営は、7期の有志27名の運営STAFFによって行われました。当日の2週間ほど前からお昼休みに集まり、名簿の作成、司会進行、会場設営、動線などの打合せを重ね実施の運びとなりました。自分よりも年の小さな子への言葉遣いや身振り手振りを工夫したり、臨機応変に時間を調節したりするなど、運営STAFFのおかげでよりコミュニケーションをより活発に、そしてスムーズに進行することができました。

(4f担任 片山 幸雪)

【4年生】 ロボット講演会(11月5日)

千葉工業大学未来技術研究センター所長の古田貴之様による講演会が行われました。古田様は日本のロボット工学の第一人者で、ロボットクリエイターとして世界各国から注目を集めている方です。古田様が開発された最新のロボットの映像を見たり、古田様の様々な伝説を聞いたりして、歓声や笑い声があふれる講演となりました。(本当は実物のロボットを見せていただく予定でしたが、空港の検査でひっかかってしまったそうです…。)古田様のお話はどれも刺激的で、まさに「本物体験」になったと思います。3年生は、来年この講演が聞けるかもしれないので楽しみにしてください！
(太田 郁美)